教員の取得学位及び主な著書・論文等

◆職 位:講師

◆氏 名:板津 良

◆取得学位:博士(看護学)

◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月 (西暦)	巻	号	頁	授業内容に反映してい る科目名
Methicillin-resistant Staphylococcus aureus Cross-Transmission in an Intensive Care Unit: Two High-Profile Cases Analysis using the PCR-based Open Reading Frame Typing Method.	Ryo Itazu, Hisako Yano, Shuhei Kondo, Nanako Hata, Tetsuya Tamura, Hiroyuki Hirate, Kazuya Sobue.	Nagoya Medical Journal	2023年5月	57	2	73-82	基礎看護技術Ⅱ
集中治療室における Methicillin-resistant Staphylococcus aureus に関連した危険因子と 感染予防対策についての文献的考察	板津良、矢野久子	愛知医科大学看護学部 紀要	2022年12月		21	25-33	基礎看護技術Ⅱ
新型コロナウイルス感染拡大の影響下における若手教員を対象としたFD活動の実際と評価	板津良、河井丈幸、児玉 まゆみ、中村正子、白井 裕子、山本恵美子、三浦 裕次、阿部恵子	愛知医科大学看護学部 紀要	2022年12月		21	63-66	
看護基礎教育課程最終学年次に COVID-19 感 染拡大の影響を受けた 2021 年度新人看護師が 持つ教育ニードに関する研究	中山綾子、山本恵美子、 山中真、 <u>板津良</u> 、岡本悦 子、冨石香代子、村松有 紀	愛知医科大学看護学部 紀要	2022年12月		21	15-24	
救急領域を含めた ICU における MRSA 交差伝播に関連する危険因子の検討	板津良、矢野久子、安岡砂織、田村哲也、平手博之、祖父江和哉	日本救急医学会中部地 方会誌	2021年12月	17		1-5	基礎看護技術Ⅱ
コロナ禍に伴った自己練習時間短縮がバイタルサイン測定技術試験に与えた影響	<u>板津良</u> 、中山綾子、山中 真、黒澤昌洋、山幡朗子、 山本恵美子、伊藤眞由 美、篠田かおる	インターナショナル Nursing Care Research	2021年10月	20	3	49-57	ヘルスアセスメント

看護学部および日本語教員課程の学生の学び 一防災活動を立案・実施する協働プログラムか ら一	河村諒、 <u>板津良</u> 、宮谷敦 美、東弘子、坂本真理子		2020年4月	19 1	87-97	
ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症	【編集】薊隆文、矢野久子 【執筆(掲載順)】薊隆文、 伊藤旭、福井幸子、浅金 青本。 では 一種が 一種が 一種が 一世を 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で	EX 疾患と看護④ 血液/ アレルギー・膠原病/感 染症	2020年1月		249-264 406-408	

◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名	授業内容に反映している科目名
ICU における薬剤耐性菌 MRSA 持込に関する危険因子の多施設研究と伝播予防策の構築	2024~2026 年度	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)	基礎看護技術Ⅱ
集中治療室における薬剤耐性菌 MRSA 交差伝播の危険因子とリスク低減ケア方策の解明	2020~2023 年度	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)	基礎看護技術Ⅱ
集中治療室における MRSA 持込患者の実態と危険因子の検討	2019 年度	愛知医科大学看護学部研究助成金	